

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



- ◆ ウイルス感染やフィッシング詐欺、改ざんされたWebサイトにより
クレジットカード情報を詐取される
- ◆ クレジットカード情報をショッピングサイト等で不正利用される

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



◆ 攻撃手口

・攻撃者が用意した偽のページに情報を入力させて詐取

・フィッシング詐欺による情報詐取

- 実在する企業を模した偽のWebサイト（フィッシングサイト）を攻撃者が用意し、メールやSMSでサイトへ誘導してクレジットカード情報を入力させる



・正規の決済画面を改ざんして情報窃取

- ショッピングサイトの脆弱性等を悪用して正規Webサイトの決済画面を改ざんし、利用者を誘導してクレジットカード情報を入力させる
- 正規のWebサイト上に偽画面があるため、気付くことが困難

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



◆ 攻撃手口

・不正アクセスや不正な売買で入手した情報を悪用

・不正アクセス

- ・ 決済代行会社のシステムの脆弱性を悪用し、システムに不正アクセスし、クレジットカード情報を窃取する

・漏えいした情報の悪用

- ・ インターネット上のサービスから漏えいした情報はダークウェブと呼ばれる闇サイトで売買されることもある
- ・ 攻撃者が闇サイトで得たクレジットカード情報を不正に利用

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



◆ 攻撃手口

・クレジットカード情報を特定して悪用

• クレジットカードマスター攻撃

- クレジットカード番号、有効期限、セキュリティコードは桁数やパターンが限られている。これらの組み合わせをツールにより総当たりで入力し、クレジットカード情報を特定、悪用する。

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



◆ 攻撃手口

・ウイルスに感染させて情報を窃取

• メールを利用したウイルス感染の手口

- 攻撃者が悪意のあるプログラムを含むファイルを作成し、それを添付してメールを送信する。その後、送信したメールの受信者に添付ファイルを開かせることでウイルス感染させる
- クレジットカード決済の利用者が、ウイルス感染した端末上で決済を行うことでクレジットカード情報を窃取される

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



◆ 2023年の事例/傾向①

• 「NICO ONLINE SHOP」でクレジットカード情報流出

- 2023年10月、クレジットカード情報が流出したおそれがあることをFANSMILEが公表した
- 流出したおそれがあるクレジットカード情報は、2021年3月から2022年12月にかけて「NICO ONLINE SHOP」で利用された13,084件であった
- 原因は、同社が運営するWebサイトが攻撃者に不正アクセスされ、決済アプリケーションを改ざんされたことであった

【出典】 当サイトへの不正アクセスによる個人情報漏えいに関するお詫びとお知らせ（株式会社FANSMILE）
<https://nico-online.com/news/54>

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



◆ 2023年の事例/傾向②

● 「志布志市ふるさと納税特設サイト」でクレジットカード情報流出

- 2023年6月、クレジットカード情報が流出したおそれがあることを鹿児島県志布志市が公表した
- 流出したおそれがあるクレジットカード情報は、「志布志市ふるさと納税特設サイト」で2021年3月から12月にかけて利用された910件であった
- 原因は、当該Webサイトが改ざんされ、クレジットカード決済時に情報を窃取する不正なソフトウェアが実行されたことであった

【出典】 本市が運営する「志布志市ふるさと納税特設サイト」への不正アクセスによる個人情報漏えいに関するお詫びとお知らせ（志布志市）
<https://www.city.shibushi.lg.jp/soshiki/5/22233.html>

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



◆ 2023年の事例/傾向③

- **クレジットカード情報の不正利用被害額が昨年より増加**
 - 2023年12月、日本クレジット協会が「クレジットカード不正利用被害実態調査の結果」を公開した
 - 2023年1月～9月の被害額は401.9億円となり、2022年同期間の被害額309億円と比較して増加しており、過去最悪のペースで被害が発生していた
 - 正規の利用者が騙されていなくてもクレジットカード情報を攻撃者に入手され、正規の利用者が被害に遭うおそれがあるクレジットマスター攻撃をIPAが複数確認しており、注意を促した

【出典】 クレジットカード不正利用被害の集計結果について（一般社団法人日本クレジット協会）

https://www.j-credit.or.jp/download/news20231228_a1.pdf

コンピュータウイルス・不正アクセスの届出事例〔2023 年上半期（1 月～6 月）〕（IPA）

<https://www.ipa.go.jp/security/todokede/crack-virus/ug65p9000000nnpa-att/2023-h1-jirei.pdf>

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～



◆ 対策

・利用者

【被害の予防】

- クレジットカード会社が提供している本人認証サービス（3Dセキュア等）を利用する
- メールの添付ファイル開封や、メールやSMSのリンク、URLのクリックを安易にしない
- 普段は表示されないような画面やポップアップが表示された場合、情報を入力しない
- プリペイドカードやデビットカードの利用を検討する
 - 不正利用被害額となる利用可能金額の範囲を限定する
- 利用頻度が低いサービスではクレジットカード情報を保存しない
- 利用していないクレジットカードは契約解除や物理的破棄を検討する

クレジットカード情報の不正利用

～一度も使っていないクレジットカードが不正利用される！？～

IPA

◆ 対策

• 利用者

【被害の早期検知】

- クレジットカードの利用明細を定期的に確認する
- サービス利用状況の通知機能等を利用する

【被害を受けた後の対応】

- クレジットカードの利用停止手続きをする
- ウイルス感染した端末の初期化
- サービス運営者（コールセンター等）へ相談する
- 都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口へ相談する※1
- パスワードを変更する
 - 他のサービスで同じパスワードを使っていた場合は同様に対応する



【参考】※1 都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>